



〒894-3192 鹿児島県大島郡大和村大和浜100

# 議会だより

第56号

平成27年10月発行

編集：議会広報委員会

発行：大和村議会

☎ 0997-57-2216(直)

FAX 0997-57-2967



## 第33回 南部町村議会議員大会（大和村会場）

### 主な内容

第1回定例会 一般質問（6人）	2～7
平成27年度 当初予算可決	8
平成27年度 予算審議委員長報告	9～11
第33回 大島本島南部町村議会議員大会（大和村）	11
第1回定例会	12～15
議会の動き・編集後記	16

# 第1回 定例会 一般質問(6人)

平成27年第1回定例会(3月)において、6名の議員が一般質問を行い、指定管理制度、地方創生、子育て支援、観光振興などについての行政施策をたしました。なお、質問及び答弁要旨については次のとおりです。

(3月23日 本会議)

## フォレストポリス (森林公園)の 指定管理について

インターネット等で公募した指定管理にするべきではないか。

(答弁) 大和村公園等施設管理運営検討委員会で協議を進める。

これまでの公募資格については、村内雇用を優先し、活性化を図る目的で村内の住所を有する個人、法人を選定してきた。



奥田忠廣 議員

委託費削減についても企業と連携を図りながらイベントの開催等で利用者も増えていると認識している。今後も同様な対策が大事であると考えているが、公募については大和村公園等施設管理運営検討委員会で協議を進める。



## 土木工事の環境配慮について

泥水流出防止対策予算は事業費に含まれていないのか。

(答弁) 沈砂池や汚濁防止フェンスの設置を設計に計上している。

環境配慮について施工業者にどのような指導をしているのか。

(答弁) 請負業者には極力濁りを出さない施工の仕方や汚濁防止フェンス等の設置を行い濁りを流さないように指導している。

環境に配慮できない施工業者にはペナルティーを科すべきではないか。

(答弁) 工事の完成検査

時には進捗状況、施工内容、現場の管理、出来高等の4項目について工事成績評定を行っている。2年ごとに実施する業者の格付けはこの評定を活用するので、これがペナルティーになると理解している。

## 水産業振興について

漁礁設置の要望があるが設置は考えられないか。

(答弁) 漁礁は大事な漁獲量の増につながるものである。奄美漁協や、まほろば大和漁業集落と協議を進めて行く。



池田 幸一 議員

## まち、ひと、しごと、 地方創生について

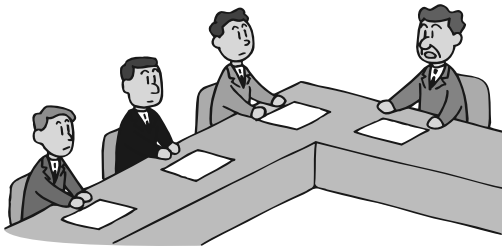
地方版総合戦略を策定  
することであるが、  
地方創生の取り組みは、  
自主性、主体性を最大  
限どの様に発揮しよ  
うと考えているのか。

(答弁) 策定会議の委員  
等に、役場、議会だけで  
なく、外部有識者、NP  
O法人、イターン・Uター  
ン者等、幅広く委員に委  
嘱し、住民が考えて課題

を提案し、それを行政が  
吸い上げ解決策を見出す  
というようなスタンスを  
考えている。

一次産業から六次産業  
までの人材育成の取り  
組みは出来ないものか。

(答弁) 仕事の創生を図  
りつつ若者の地方での就  
労を促すとともに、地域  
内外の有用な人材を積極  
的に確保、育成し、地方  
への移住定着を促進する  
ための仕組みを整備する



となっているので、人材  
育成への取り組みは積極  
的に地方版総合戦略の中  
に盛り込んでいく。

まち、ひと、しごと創  
生には、地域住民にヒ  
ントがある。住民に対  
し、アンケートを実施  
してはどうか。

(答弁) 策定委員会の中  
で協議していきたい。

## 国勢調査について

人口割りで交付金が配  
分されるが、調査時に  
本村の人口増が見込ま  
れるのか。

(答弁) 前回よりも増加  
することはなく、減少幅  
は前回より小さい。

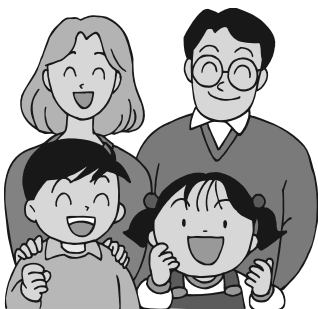
村外に住所のある職員  
に調査期間のみ本村へ  
住所を移すように促し  
てはどうか。

(答弁) 職員の方の本村



民 文 忠 議員

移住については、それぞ  
れの事情があつての事な  
ので、今後も働き掛けな  
がら共に考えて参りたい。  
住所のみの移転等は考え  
ていない。



## 子育て支援について

施政方針に、〇才児から2才児保育を検討するところがあるが、いつから実現可能か。

(答弁) 平成27年度を施設整備や体制づくりなどの課題を総合的に判断する検討期間とし、早い時期に運用開始できるように取り組む。

## 家賃滞納について

改善傾向にあるようだが、今後の滞納解消の見込みはあるのか。また、滞納者が死亡後、保証人との協議が確実かつ効果的に行われているのか。

(答弁) 百万以上の大口滞納が2件あったが、1

件については納税指導により全額納付済み。もう1件については、退去後、保証人を含めた面接等を行い、少しずつだが納付継続中。滞納して、死亡された方についても2件あり、1件は保証人も死亡、もう1件は、保証能力なしと判断し、相続人と交渉中である。

住宅家賃の滞納については、村民に不公平感を抱かせないためにも、また貴重な財源確保のためにも、根気強く解消に向けて取り組んでいく。



## 大和村の未来について

(答弁) 平成26年度から奄振の交付金化による各種事業も始まり、27年度からは、まち・ひと・しごと創生総合戦略も本格化する。また、奄美群島は国立公園指定、世界自然遺産登録も目指している等、今後取り組む課題も山積している。本村に明るい未来が訪れるように村政運営に努めて行く。

## 地籍調査について

地籍調査事業は今年で27年が経過するが、何年後の完了を見込んでいるのか。

(答弁) 平成元年から調査を開始して、平成26年度までに国直地区から思勝地区までは、ほぼ完了している。また、公共事業の関連により今里、志戸勘、名音地区の一部も終了している。その後の調査は、平成26年度から



梅 畑 茂 和 議員

大和浜地区と大金久、戸円地区を2班体制で進めている。現在の進捗率は32・12%で、完了まで約45年は掛かるとみている。





勝 山 浩 平 議員

## 大和村の「地方創生」戦略について

「大和村版総合戦略」の主な柱としてどのような施策を考えているのか。

(答弁) 地方における安定した雇用を創出する、地方への新しい人の流れをつくる、若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶える、時代にあった地域づくり、安心な暮らしを守るとともに地域と

地域を連携する、この4つの基本目標を柱として、それぞれに、大和村独自の具体的な施策を作成していく。

策定計画の予定はいつか。

(答弁) 平成27年度のなるべく早い時期から始めまして、出来るだけ多くの意見を吸い上げ、検討・分析し、策定委員会で意見を伺う形で進めていけば、平成27年度いつぱ

いかかる予定である。

戦略策定に当たり、連携協定を結んだ鹿児島国際大学との連携を図っていくべきではないか。

(答弁) 産・官・学・金などあらゆる分野の人の協力、参画を促進するよう求められているので、大学の持つ専門知識を活用する上でも、連携を図ることは有意義であり、必要だと考えている。

活性化に外からの視点を取り込むために、「地域興し協力隊」や国の職員派遣など、人的支援の活用は考えていないか。

(答弁) 国の職員派遣については考えていないが、

地域おこし協力隊については、導入の検討を進めている。

地方創生には充実した定住促進策に加え、雇用の創出が必須になるが、起業家への融資等の支援や、一次産業従事者の融資調達の円滑化等の施策を総合戦略に組み入れて行くべきではないか。

(答弁) 地方創生は人が中心であり、その人が仕事をづくり、まちをつくるという流れであることから、起業家への支援等については総合戦略に組み入れていくべきものと考えている。

子育て支援策として「高校生までの医療費無料化」と「保育園の完全無償化」について

全国的に子育て支援策が展開される中、政令市でも中学生までの医療費無料化が実施され、先進自治体では、高校生までの無料化が図られており、また、幼児教育においても、天城町が完全無償化を図るなど、全国で無償化の動きが増えつつあるが、本村でも「子育てするなら大和村」といわれるように充実した支援策として、高校生までの医療費無料化と保育所の完全無償化を実施していくべきではないか。

(答弁) 高校生までの医療費の無料化については、県内でも2市町が実施している。本村でも今後検討を進める。

保育所の完全無償化について、天城町の取り組みは、保護者は一旦保育料を納めて、年度末に納税の未納が無かった場合に、還付を受ける方法をとっているが、本村においては現在、教材費という名目で、おやつ代を含めて毎月3000円を徴収しているが、平成27年度からは教材費については村が負担し、おやつ代については自己負担(1500円)としたい。



## 小学校の今後のあり方について

文部科学省は「公立小学校等の適正規模・適正配置に関する手引き」を6年ぶりに規程改定し、少子化、人口減少を背景に小規模校に統合を促す一方、難しい場合は、欠点の解消策に取り組むように提言しているが、本村はどのような取り組みを行うっていくのか。

(答弁) 本村では地理的な要因や地域事情を踏まえ、地域の交流の場でもある学校の灯は消さないとの基本的な考え方で、地域住民の理解や協力を得ながら、小規模校の存続に努めているところであり、文部科学省の見解の統廃合は考えていない。小規模校だから出来る

教育、小規模校のメリットを活かした教育、デメリットを克服する教育の推進に取り組んでいる。学び方を学ばせる態度の育成、個に応じた学習指導の充実、社会性や多様な考え方を育てる各小学校を一堂に集めた集合学習の実施、夏及び冬休みの学習教室等を実施している。

## 停電対策について

政府が施行予定の無電柱化推進法案について、台風などの災害により頻繁に停電が発生する当地域においても早期に無電柱化の事業が導入できるように取り組んでいくべきではないか。

(答弁) 村では停電対策

として戸円高齢者避難所、大和診療所に非常用発電機を設置しているが、今後大和村防災センターをはじめ前集落の公民館に非常用発電機の設置を

計画している。無電柱化については、今後の情報を収集しながら群島全体で取り組む課題だと認識している。



議員 正 蔵

## 観光振興について

フォレストポリス周辺の携帯電話の不感地帯解消への取組は怎么样了らうか。

(答弁) 名音南局のアンテナ追加で改善が可能。NTTドコモ本社への改善案を提案中。そういった不感地帯があれば、NTTドコモ社以外の携帯会社にも要望していく。

観光客に対する、指定管理者との連携によるサービス向上の具体案を示せ。

(答弁) 管理者側はホームページによる情報提供を行い、ナイトツアーやグラウンドゴルフ大会等の事業を実施、行政側は各種スポーツ大会の開催や合宿誘致等で観光客や来園者の増加を図っている。今後は満喫ツアー等の充実、冬場の合宿、フォレストポリス周辺を含めた観光地づくりの利用促進や行事における移動販売車での特産品販売にも努めたいと考える。

村内にあるものづくり集団の連携を図る仕掛けを行政からつくるべきでは？

(答弁) ものづくり集団の連携については、施設のあり方や機材の要望など、話し合いをもち、女性の意見を聞きながら本村のいい物を発信できるように努力したい。

道の駅やツアーガイド等、経営継続を視野にいたれた地元人材育成について見解を示せ。

(答弁) 現在、「土地の確保」と「どの事業で整備ができるか」について検討中。スケジュールが決まったら人材育成も視野に入れて検討したい。ツアーガイド育成は、外国者への対応も含め、村内の人材を活用して取組を進めたい。地域おこし協力隊が活用できれば、スケジュールも立てているのではと考えている。

## 農林水産業の振興について

実証体験農園について、観光客、新規就農者や担い手づくりへの具体案を示せ。

(答弁) 体験農園ではスモモ、たんかん、津之輝等の植栽を行い、世界自然遺産登録を見据えた観光ルートの一環として整備を進めている。今後は、年間を通した体験型観光（もぎ取り体験など）も視野に入れて観光客誘致に努力したい。新規就農者・担い手については果樹、野菜を中心に実証検証の場として活用し、育成努力につとめたい。

台風やヒヨドリ被害等で農家の生産意欲減退が懸念されるが、例年以上の支援策や産業祭的な協力、表彰等で生産意欲をかき立てる方策をとるべきでは？

(答弁) 実証農園で成長の早い樹種等のアдек・マサキなどを取り入れ、本村に合った暴風樹の確立に取り組んでいる。ヒヨドリに有効な防鳥網は鳥獣保護法との関係もあるので、農家への指導も慎重に行いたい。

肥料補助増額などの要望が産業振興課にあがってくれば、検討していきたい。

農家への表彰も、今後、中身について検討したい。

高齢農家に対して、耕作地継続・農作業支援事業の説明・農家台帳整備など、新たな支援策を検討すべきではないか。

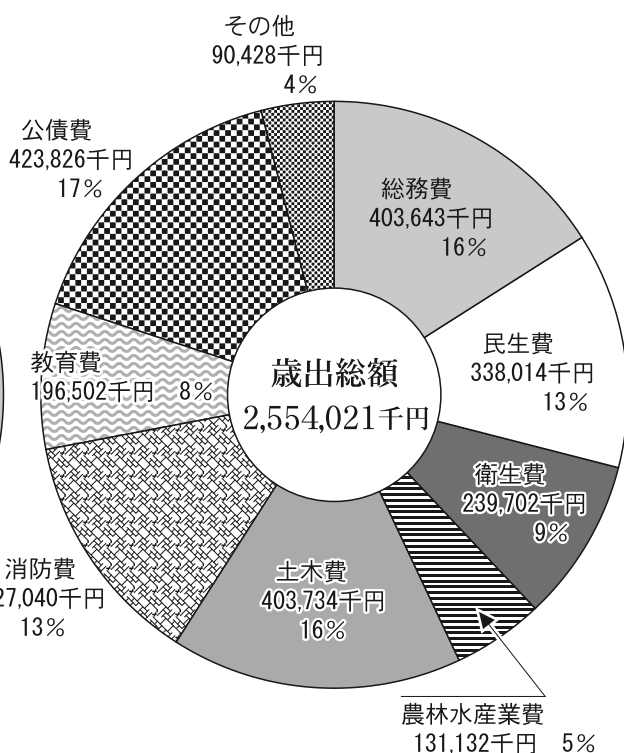
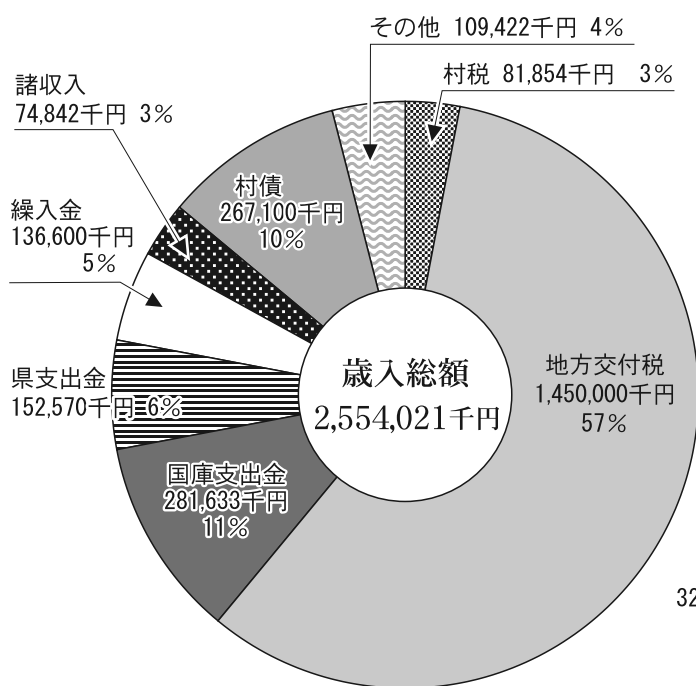
(答弁) 農業関係の助成事業については、パンフレット配布、各種会合、農政懇談会等で説明を行っているが、今後も事業の周知徹底を図りたい。また、今年度からの農地中間管理事業には高齢者への支援策もある。農家台帳を基に再度周知を行い、今後の高齢農家の農業のあり方等、多方面からこの事業を活用した村の農業振興に取り組みたい。「耕作放棄地解消」に向けて重機の無料貸出や費用免除などの方法は考えていくべき。

# 平成27年度 当初予算可決

平成27年度の一般会計及び各特別会計予算は、予算審査特別委員会に付託され、最終本会議で予算審査特別委員長報告（9面に掲載）があり、各会計とも原案可決されました。各会計の当初予算状況は次のとおりです。

平成27年度一般会計当初予算 歳入

平成27年度一般会計当初予算 歳出



## 【平成27年度各会計当初予算状況】

会計名	予算額	対前年度対比
一般会計	25億5,402万1千円	2億5,294万1千円減
簡易水道特別会計	7,526万5千円	424万8千円減
国民健康保険特別会計	2億8,347万3千円	81万6千円減
大和診療所特別会計	9,380万円	472万円増
介護保険特別会計	2億8,643万5千円	643万5千円増
大和の園特別会計	1億9,443万4千円	199万2千円増
集落排水事業特別会計	2億7,987万9千円	1億2,278万3千円減
後期高齢者医療特別会計	2,744万1千円	193万1千円増



平成27年度

# 予算審議委員長報告

予算審議特別委員長 藏 正

本村の平成27年度予算  
編成については、村長の  
施政方針にもあるように、  
「健全財政」、「観光・農  
林水産業振興」、「定住促  
進対策」、「子育て支援・  
教育環境の充実」、「道路  
交通網・情報通信網・生  
活環境の整備促進」、「防  
災力の強化・高齢者福祉  
の充実による安全・安心  
な村づくり」の6項目に  
ついて、堅実な予算編成  
となっております。

本委員会は、3月11日  
午前中に主な箇所の現地  
調査を行い、橋梁補修事  
業2箇所、道路改良事業、  
定住促進住宅整備事業な  
ど、計4箇所の事業説明



予算審議委員会

一般会計及び各特別会計予  
算案の審議を行いました。  
一般会計予算の審議は、  
19日から20日の午前中に  
かけて行われ、全委員が  
質疑を行い、審議をいた  
しました。  
一般会計予算の審議事



予算審議委員会

項といたしました。大き  
な柱として、人口減少に  
伴う定住促進対策や、農  
林水産業の振興をはじめ、  
販路拡大などを含めた六  
次産業の活性化について  
質疑がされました。

詳細な審議につきまし  
ては、農林水産業の振興

については、林業振興助  
成費においても、農業振  
興助成並の支援をしてい  
ただきたいという意見や、  
離島漁業再生支援交付金  
の340万円を漁民のため  
に有効活用して欲しい  
という意見もありました。

「道路交通網・情報通

信網・生活環境の整備促進」についての意見として、光ファイバー高速通信網やWi-Fi整備を

早急に行い、本村の最大な観光拠点となり得る奄美フォレストポリスへのアクセスのスムーズ化を図るため、村道大柵名音

線道路改良事業を早期完了してほしいとの意見も出しました。

「定住促進対策」については、27年度国直集落に建設予定の村営住宅については、再度集落民と協議し、集落民が納得できる建設を行い、また設



現 地 調 査

計委託については公募などにより、入居者が住みたいと思うデザインにしてほしいとの意見も出しました。

またこれからは、U・Iターン者等の新規定住者だけを対象とせずに、本村で以前から家を所有している住民に対しての改修費の助成も行ってほしいとの意見も出しました。

各集落の商店については、経営の維持が困難で、閉店に追い込まれた商店も発生しているが、集落民の数少ない交流の場であるとの位置づけからすれば、何らかの支援策が必要ではないかとの意見がありました。

以上、一般会計予算の質疑は、19日終日、20日の午前中で終了し、その後、討論・採決を行います。



現 地 調 査

したが、討論はなく、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

引き続き、各特別会計予算についての審議を一括で行いました。

国民健康保険税や介護保険料については、滞納整理については、年々解消しつつあり、喜ばしい事であります。診療所においては、ジェネリック医薬品を利用したりして、予算の有効活用をさらに進めてほしいとの意見も

出ました。また、新しい医師の元、診療体制の充実化を図り、村民がこれまで以上に安心して利用できる診療所になっていたいただきたいとの意見ができました。

大和の園のさらなるサービスの向上のためには、賃金などの労働環境の改善も含めた職員が働きがいのある職場環境の充実化を図ることも、入所者へのサービスに大いに反映されるとの意見も出ましたので、確実に実践してほしいと思います。

以上で、各特別会計予算の主な審議内容と各委員による意見を申し上げましたが、質疑終了後、一括して討論を行い、各会計ごとに採決を行いました。

その結果、どの特別会計においても討論はなく、採決の結果、全特別会計ともに、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上のとおり、予算審議特別委員会に付託を受けました、平成27年度大和村一般会計予算を含む、8件の予算については、原案のとおり可決すべきものと決定いたしましたので、報告いたします。



## 第33回 大島本島南部町村議会議員大会（大和村）

大和・宇検・瀬戸内の3町村で構成する第33回大島本島南部町村議会議員大会が2月12日（木）、大和村体育館で開催され、国政報告（代読）及び県政報告の後、大和村提出の「主要地方道名瀬瀬戸内線の大金久～戸円間トンネルの早期実現」を含め、3町村から、それぞれ提出された議題が全て採択されました。



また、研修会においては、「世界自然遺産登録に向けた取り組み」と題して、環境省奄美自然保護官事務所上席自然保護官 鈴木祥之先生に講演をおこなってもらい、登録に向けての各市町村取り組みについてなどについて、詳しく話をしてもらいました。

### 各町村提出議題

1. 主要地方道名瀬瀬戸内線の大金久～戸円間トンネルの早期実現について（大和村）
2. 主要地方道名瀬瀬戸内線（芦検～今里間）トンネル開設について（宇検村）
3. 離島・僻地における介護サービスの充実について（瀬戸内町）

# 第1回定例会

平成27年第1回（3月）定例会が3月10日～26日（17日間）まで開かれ、平成26年度補正予算をはじめ、条例改正や制定及び、平成27年度当初予算などが審議されました。  
なお、可決及び否決された議案は、次のとおりです。

## 予 算

### ●平成26年度 一般会計

#### 補正予算（第7号補正）

補正額

3712万円 増額

予算総額

31億571万円

（補正内容）一般会計補

正予算（第7号）は、歳

入においては、普通交付

税の追加交付や地域住民

生活等緊急支援交付金が

増額され、歳出において

は、地域住民生活等緊急

支援交付金事業（地方創

生関係）や国民健康保険

特別会計繰出等が増額さ

れました。

主な補正は次の通りと

なっています。（※一万

円未満切り捨て）

（歳入）

○普通交付税

122万円増

○国庫補助金

1962万円増

○寄附金

210万円増

（歳出）

○総務管理費（地域住民

生活等緊急支援交付金事

業）

3352万円増

○社会福祉費（国民健康

保険特別会計繰出金）

806万円増

○道路橋梁費（湯湾釜・

名音バス停）

700万円減

○消防費（消防施設、防

災施設関係）

200万円増

### ●平成26年度 簡易水道

#### 事業特別会計補正予算

#### （第3号補正）

繰越額

770万円

（補正内容）繰越明許費

です。大棚地区浄水場配

水管移設工事において、

浄水場内及び取付道路の

掘削が深く、作業の安全

性の確保や既設の配管が

交差するなど時間を要し

たため平成26年度から平

成27年度に繰り越して行

おうとするものです。

予算総額

2億9848万2千円

（補正内容）歳入におい

ては、国民健康保険税の

増額及び国庫負担金の療

養給付費等負担金等が減

額され、歳出においては、

国庫負担金の減額に伴う

財源の組み替え及び診療

所特別会計繰出が増額さ

れました。主な補正は次

の通りとなっています。

（歳入）

○国民健康保険税（滞納

繰越分）

164万円増

○国庫負担金（療養給付

費負担金等）

1153万円減

○国庫補助金（特別調整

交付金）

278万円増

補正額

123万円 増額

### ●平成26年度 国民健康 保険特別会計補正予算 （第3号補正）

○療養給付費交付金（退職者医療費）  
468万円増

主な補正は次の通りとなっています。

介護給付費負担金等が増額され、歳出においては、

○施設介護サービス給付費  
660万円増

（歳入）

○村債（農業集落排水事業債）

○共同事業交付金  
1561万円減

（歳入）

○一般会計繰入金  
130万円増

（歳出）

○保健事業費  
1360万円減

○他会計繰入金（国保会

計）

○繰出金（診療所特別会

160万円増

は次の通りとなっています。

●平成26年度 集落排水事業特別会計補正予算（第2号補正）

（歳出）

○総務費  
110万円増

計）

160万円増

（歳出）

○一般管理費（人件費等）  
276万円増

○介護保険料（滞納繰越分）  
44万円増

補正額

110万円 増額

●平成26年度 後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号補正）

●平成26年度 大和診療所別会計補正予算（第3号補正）

276万円増

分）

予算総額

4億387万円

補正額

152万円 増額

●平成26年度 介護保険別会計補正予算（第3号補正）

○国庫負担金（介護給付費）  
23万円増

予算総額

2710万3千円

補正額

290万3千円 増額

○支払基金交付金  
81万円増

（補正内容）歳入においては、起債が増額され、

予算総額

9930万2千円

補正額

297万8千円 増額

予算総額

（補正内容）歳入において、

歳入金が増額され、

歳出においては、人件費、

医業費が増額されました。

○居宅介護サービス給付費  
500万円減

の通りとなっています。

（補正内容）歳入においては、保険料及び国・県

者医療広域連合納付金及び健康保持増進事業費が増額されました。主な補

正は次の通りとなっております。

(歳入)

○後期高齢者医療保険料

167万円増

○保険基盤安定繰入金

120万円増

(歳出)

○後期高齢者医療広域連

合納付

140万円増

○健康保持増進事業費

15万円増

## 条例

●大和村長等の給与の特例に関する条例の一部改正

(改正内容)

この条例は、行財政改革等に伴う特例措置とし

て、村長及び副村長・教育長の給料について、条例で定めている給料額を特例として減額する条例であり、平成15年度から実施していますが、今回の改正は、その給与減額特例の実施について、平成28年3月まで引き続き行うものであります。

○特例による村長等の給料の減額率

一〇〇分の10

●大和村職員の給与に関する条例の一部改正

(改正内容)

平成26年度の人事院勧告による今回の改正は、民間賃金の低い地域における官民給与との実情を適切に反映させるために、給与制度の総合的見直し

や給料表水準の引下げを行い、平成27年4月1日から給与の改定を行うものです。

●大和村報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

(改正内容)

大和村地方創生総合戦略策定委員会委員長及び委員等の経費です。

●大和村行政手続条例の一部改正

(改正内容)

国の行政手続法が改正されたのに伴い、本村の条例も改正するものです。

●大和村地域包括支援センターの包括的支援事業を実施するために必要

なものに関する基準を定める条例の制定

(内容)

地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るため、包括的支援事業を実施するための条例です。

●大和村指定介護予防支援等の事業の人員、運営等に関する基準を定める条例の制定

(内容)

地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るため、指定介護予防支援等の効果的な支援を行う条例です。

●大和村課設置条例の一部改正

(改正内容)

現在、住民税務課で行っている児童福祉及びへき地保育所に関する事務を、住民サービスの向上を図るために、平成27年4月から保健福祉課に事務を移管する内容の改正です。

●大和村集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部改正

(改正内容)

大和村集落排水、中部地区の大金久地区が一部供用開始されるための改正です。

## ● 大和村介護保険条例の一部改正

(改正内容)

平成27年度から平成29年度までの第1号被保険者の保険料を改正するためです。

## ● 大和村防災会館の設置及び管理に関する条例の制定

(改正内容)

大金久防災会館の完成に伴う改正です。

## ● 大和村家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

(内容)

新制度における新たな施設類型として、市町村

が認可することになり、児童福祉法第34条の16に基づき条例を制定するものです。

## ● 大和村放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

(内容)

市町村は放課後児童健全育成事業の施設及び運営について条例で基準を定めなければならないため。

## ● 大和村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定

(内容)

子ども・子育て支援法の制定により、特定教育

・保育施設の運営に関する基準を定めるための条例です。

## ● 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定

(改正内容)

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴い、大和村報酬及び費用弁償、教育長の給与等、教育委員会委員の定数この3条例の一部を改正するものです。

## ● 平成26年度 施行津名久防災会館整備事業（建築工事・電気設備工事）請負契約の締結について

賛成少数で否決されま

した。

## ● 大和村教育委員会委員の任命について

大金久の徳裕子氏の任命に同意しました。

## ● 大和村議会委員会条例の一部を改正する条例の制定

(改正内容)

教育委員長と教育長を一本化した新たな責任者、新教育長を置くための改正です。



# 議会を傍聴しましょう

議会の定例会は年4回(3月、6月、9月、12月)

行われます。 お問い合わせ先 ☎57-2216 (直通)

## 議会の動き

【12月】

11日 第4回大和村議会定例会（予算・条例等）開会  
19日 定例会・最終本会議（一般質問・その他）閉会

平成27年

【1月】

4日 大和村消防出初め式（大和校・議員）  
大和村成人式（村体育館・議員）  
16日 大島本島南部議会連絡会役員会（議長・副議長）  
20日 全員協議会（南部議員大会打ち合わせ）  
正副議長研修会（議長・副議長）  
26日 奄美・やんばる広域圏交流推進協議会総会（議長）  
29日 議員研修会（鹿児島市・議員）

【2月】

12日 第33回南部町村議会議員大会  
15日 龍郷町町制施行40周年記念式典（議長）  
17日 臨時総会（議長）

27日 県町村議会議長会定期総会（議長）  
県離島振興町村議会議長会定期総会（議長）  
市町村議会議長会（奄美市・議長）  
市町村長・議会議長合同会（奄美市・議長）  
奄美群島広域事務組合議会（奄美市・議長）

大島地区衛生組合議会定例会（奄美市・奥田議員）  
大島地区消防組合議会定例会（奄美市・梅畑議員）  
大島地区介護保険一部事務組合定例会（奄美市・池田議員）  
大島農業共済事務組合定例会（奄美市・蔵議員）

【3月】

2日 議会運営委員会（議員控室・運営委員）

## 編集後記

村民の皆さん毎日お疲れ様です。

ひらとみ祭りが終わり、9月の声を聞いたら朝夕秋らしい気候になってきました。しかし昼間はまだまだ暑い日が続いています。熱中症などに気をつけられて、元気にお過ごし下さい。

広報委員長として、村民の皆様にお詫び申し上げます。議会だよりの発行が遅れ皆様方には大変ご迷惑をおかけしました。

今後は広報委員一同スムーズな発行に努めていきたいと思ひます。

また、私たち議員は日頃から、村民の皆さんが安心して住みやすい村にしたいように、皆さ

んの要望や意見など、生の声を行政へ忠実に伝えていく義務があります。

今後も、行政に対するチェック機能を強化し、私たち議員一人一人がさらに村民の声を拾い上げ、皆さんと一緒に住みたい大和村にしていきたいと考えております。

なお、議会の定例会は、年に4回（3月・6月・9月・12月）開催されていますので、是非、議会を傍聴し、村政に対する議会活動を生で見ていただければと思ひます。

広報委員長 民 文忠

広報委員 蔵 正

〃 奥田 忠廣

〃 池田 幸一